

平成28年 第2回大田市教育委員会定例会

日 時 平成28年2月16日(火) 午後3時00分

場 所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 第1回会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題

議第7号 大田市教育ビジョン基本構想について

(総務課)

議第8号 教職員の人事異動について 【非公開】

(学校教育室)

5. その他

○報告

・平成28年度当初予算について

(各課)

・平成27年度3月補正予算について

(関係課)

・子どもの体力向上推進事業について

(文化・スポーツ推進室)

6. 閉 会

## 平成28年第2回大田市教育委員会定例会会議録

平成28年2月16日午後3時00分、大田市教育委員会事務局において、第2回大田市教育委員会定例会を開催した。

### 1. 開会及び閉会

開 会 平成28年2月16日 午後3時00分

閉 会 平成28年2月16日 午後5時10分

### 2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

### 3. 欠席委員の氏名

なし

### 4. 傍聴人

なし

### 5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

堀総務課長 橘学校教育室長 川上学校教育室主査 川島社会教育課長

林石見银山課長 渡邊学校給食センター長 飯田人権推進課長

木村総務管理係長

## 6. 開 会

### 大國教育長開会を告げ開会

#### (1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。私の方からすみません。10頁の上から18行目、橘室長の「中学校での数学の内容が達していない」とありますが、補足が必要ではありませんか。

橘 室 長 「習熟度」か「理解度」ですか。

教 育 長 そうですね。「数学の内容の理解度が達していない」に訂正をお願いします。その他、いかがですか。

委 員 (なし)

教 育 長 それでは、前回の会議録についてはこのとおり承認をいただいたものとします。

#### (2) 教育長の報告について

教 育 長 1月の定例教育委員会は28日に開催しました。2月3日に校長会が開催されました。4日、学校保健会研究協議会、市教育委員会の総務課と学校の養護教諭の皆さん、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の皆さんの出席がありました。今年は、メディアとの付き合い方ということで、講師を招いて研修会が行われ、特にスマホ依存症に近い子どもが増えていることをテーマに挙げていました。6日は、山村留学を全国展開している財団法人育てる会の創始者で、会長である青木孝安さんが叙勲を受けられましたので、市長代理で祝賀会に出席しました。8日、石見銀山展実行委員会に出席しました。来年の世界遺産登録10周年を機に、県の教育委員会他、実行委員会を組織して、10周年を記念する記念展を古代出雲歴史博物館と石見銀山資料館で開催するというので、実行委員会の設立がありましたので出席しました。9日は、ふるさと教育(E S D)の研修会ということで、岡山市から講師を招いて研修会を開催しました。12日は、三瓶自然館の事業評価、国の外部機関の助成事業として行った5年間のまとめの評価の会議がありました。14日は、公民館主事の採用試験がありました。同日、教育ビジョン基本構想の広聴会を開催しました。本日、教育委員の大田高校訪問と学校警察連絡協議会がありました。以上経過報告ですが、公民館主事の採用試験について、社会教育課長から補足をお願いします。

川島課長 公民館主事の採用試験について報告します。この度、温泉津公民館の主事の任用期間が3年経過しましたので、1名の募集を行い、現主事も含めて5名の応募がありました。1次審査ののち4名の面接試験を行うこととしましたが、1名辞退がありましたので、3名について、教育長、教育部長、総務課長により面接試験を行いました。報告は以上です。

教育長 経過報告は以上ですが、何かご質問はありますか。

梶委員 先ほどのふるさと教育（E S D）とありますが、これは、ふるさと教育をE S Dの視点で行うという意味の研修ですか、それともE S Dそのものですか。

川島課長 今回、岡山市でE S Dの担当として長く携わっておられ、1年前に退職された方に来ていただきました。岡山での公民館事業、あるいは学校でのE S Dの活動についての内容で、梶委員さんが言われる、視点のことなのか、そのものなのかということですが、両方の内容でお話しいただいております。活動の内容と、E S Dとはどのような概念なのか、考え方なのかという両方の内容でした。

教育長 ふるさと教育を大田市では様々にやっています。やっていることは変わらないけど、E S Dの視点で捉えなおすとどうなるかという視点が一つと、そもそも研修会の初めにE S Dをやっておられますかと聞かれたとき、ほとんど手が上がらなかったのですが、終了時には、やっていることはふるさと教育と同じことだ、E S Dの視点が入っているかどうかだということに皆さん気づかされた研修だったと思います。では、以上で経過報告を終わります。

### （3）議 題

教育長 それでは、議題に入ります。審議に入ります前に、本日、議題の「議第8号教職員の人事異動について」と、報告事項の「平成28年度当初予算について」、「平成27年度3月補正について」は非公開案件としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長 では、議第8号及び報告事項の「平成28年度当初予算について」、「平成27年度3月補正予算について」は非公開といたします。ただし、予算関係につきましては、市の方で公表された後、議事録においては公開することと扱わせていただきます。それでは、議第7号大田市教育ビジョン基本構想について、総務課からお願いします。

堀 課 長 議第7号大田市教育ビジョン基本構想について、別添のとおり策定するものとするとしております。先日2月14日日曜日に広聴会を開催し、約40の方が来られ、教育ビジョン基本構想(案)についてご意見をいただきました。資料に広聴会での質疑・意見をまとめたものを載せています。それと1月28日から2月15日までパブリックコメントを実施し、12名の方から意見をいただきました。次の資料に、項目・意見の内容、そのご意見に対する市の考えを載せております。基本的に、基本構想であり、いただいたご意見は、これから策定する計画で具体的な施策にあたるものや、基本構想に既に記述している事柄であるということの説明をいたしました。そのうえで、基本構想の修正箇所が3か所あります。乳幼児期のとらえなおしの14頁の12行目「保護者の啓発として、親子のふれあい、一緒に過ごす楽しさ」の部分がどこにつながるのかよくわからないという意見があり、次の項目と併せて文章を整理しました。また、21頁学校家庭地域の協働の3行目、学校支援地域本部事業で、「コーディネーターとの関わり方や体制については、」のところで「体制」という言葉が重なっているので「それぞれの地域実態に即したものにすることが必要である。」と修正しました。また、教育の魅力化のところで11頁の下から2行目、「宿泊体験学習の拡充に取り組みます」としてありますが、外国語活動もすすめるということで、外国語活動という言葉も入れております。その他、方針の修正等ではなく、事務局側で改めて文言の修正が必要と思われるところを修正しております。

教 育 長 ここはもう少し修正した方が、など意見がありましたら、お願いします。

梅枝委員 細かいことですが、19頁で「障害を理由とする」の「害」はひらがなではなく漢字でいいのですか。

教 育 長 国の法律、方針は変えられないので、そのようにしています。

梅枝委員 市が出すものはひらがなということですね。

教 育 長 そうということです。

梶 委 員 5頁の下から10行目、「楔」を削除されましたが、「さらに社会教育活動を加えることによって、体験活動の持つ力を習得した知識や技能に打ち込み」とありますが、「打ち込む」はふさわしくないと思います。「知識や技能を一層豊かにし」に直した方がいいと思います。

竹下委員 14頁の上から12行目、「親学（親学プログラム）」で参加型学習の手法ということは、何か手法的なことがあるのですか。その前の「楽しく話し合ったりつながる場を提供する」というのが参加型学習の手法というものでしょうか。

教育長 親学プログラムは参加型学習ですから、二重に説明することになって、参加型学習の方法を用いて親学プログラムというのは整理が必要ですね。『親同士の交流を通して、「親としての役割」や「子どもとの関わり方」の気づきを促す「親学プログラム（\*20）」を活用した学習活動を推進していきます。』と修正したいと思います。それから、広聴会での「たくましく健やかな体」の表現について、どういうふうには受け止められましたか。

福間委員 私は体力的な点から考えて、体のことだけを強調している発言ではなかったかなと思いました。言葉の理解の仕方が違うなと思いました。例えば学力の問題にしてもそうですが、学力は頭脳的なことばかりを捉えておられる方が多くて。我々は常に話をしているから、違うんだよということはわかっているのですが、理解の仕方のところではないかと思います。

堀課長 そのことについては、パブリックコメントにもありましたので、回答をさせていただいております。

福間委員 やはり、説明不足だったり、PR不足だったり、細かい情報を出していかなければいけないなと思いました。今回、パブリックコメント、広聴会をされたのは非常に良いと思いますが、メンバーはよく見る顔ぶれで、子育て中の親の世代の方々の参加が少なかったのは残念でした。言葉というのは非常に難しく、大田市が取り組んでいることや細かいことまで情報を流していく方法を探る必要があるなと思いました。

教育長 ご意見ありがとうございました。そうしますと、今指摘のあったところを修正し、最終案とすることとしてよろしいですか。

委員 はい。

教育長 それでは、以上で議第7号大田市教育ビジョン基本構想について審議を終わります。

#### （4）その他

教育長 では、「その他、報告事項」に入ります。

堀課長 平成28年度当初予算（教育委員会関係）について、それぞれの

部署の臨時費で要求しております内容について挙げております。主なものをご説明します。まず、総務課です。1頁、地域おこし協力隊員等受け入れ事業（高校の魅力化）、これは新規事業です。教育ビジョンの中でも教育の魅力化を図ることとしていまして、市内の高校の魅力化を図るためにこれからどう進めていくかということ、地域おこし協力隊員をコーディネーターとして、大田高校、邇摩高校、市教育委員会に各1名合計3名配置します。後ほど、出てきますが、山村留学センターにも、山村留学事業の魅力化を推進するため1名配置します。この4名を一つのチームとして公募をいたします。次に新規積立金ですが、昨年、匿名の方から株式の寄付をいただき、配当金を教育文化振興基金に積み立てるものです。もう一つ新規積立金があります。これは、昨年、教職員住宅を売却処分したことにより建設当初の国庫補助金の返還に代わる措置として、義務教育施設整備基金に国庫補助金返還相当額を積み立て、将来的に義務教育施設の整備に使うという趣旨のものです。英語指導外国青年招致事業では、現在のALT5名のうち2名が交替する予定です。複式教育推進指定校事業については、平成27年度鳥井小学校が県の研究指定校でありましたが、引き続き平成28年度も指定され、研究を進めていくものです。続きまして、学校再編計画改定事業ですが、再編の実施計画が平成28年度が最終年度となることから、計画期間中の実績に係る検証と併せ、今後どのように取り組みを進めていくか検討を行います。特別支援教育体制推進事業については、例年と同じように、支援員、介助員を配置し特別支援教育を進めていきたいと思っております。児童生徒支援事業、これも例年と同様に実施していきます。コミュニティ・スクール推進事業、現在、久手小学校、第二中学校、大田西中学校の3校をコミュニティ・スクールとして指定していますが、平成28年度も引き続き指定をしていきます。さらに準備校として3校を予定しています。ICT環境整備事業、平成27年度から計画的にICT機器を導入しており、引き続き平成28年度も指導用パソコン、プロジェクター、実物投影機などを整備して活用していきます。子ども読書活動推進事業（教育魅力化推進事業）、乳幼児期の教育の充実を図るため小さい時から読書に慣れ親しむことが必要であるという考えで、子ども読書活動巡回指導員を配置し、市内の幼稚園、保育園の巡回指導を行います。また、中央図書館の団体貸し出し用の図書の更新や整備を行います。

そして、年代に応じた就学前の幼児教育をどのように進めていくか統一した教育カリキュラムを策定することとしています。学力・教育力向上プロジェクト事業（教育魅力化推進事業）、例年と同様の取り組みの他、平成28年度からは、概ね小学校3年生から6年生の20人以上の多人数学級に学習支援員を配置、また、中学校1,2年生を対象に部活のない月曜日の放課後に「放課後学びの場」を開設し、学力向上・教育力向上に取り組めます。高校の魅力化推進事業、市内県立高校、大田高校と邇摩高校の魅力ある教育の実施について検討し、必要な支援を行います。「読み調べ学ぶ力漲る学校図書館」事業、昨年度同様引き続き実施します。ESD推進事業、新規の事業です。学校教育への普及を図っていくとともに、平成29年度に大田市でおこなわれる世界遺産学習サミットに向けESDの実践研究を5校で行います。小学校体育館非構造部材落下防止対策事業、平成26年度から実施しておりますが、小学校体育館の高所にある照明、バスケットゴールの耐震化を6校予定しています。平成28年度で予定の工事は終了します。中学校体育館非構造部材落下防止対策事業、先程の小学校と同様、中学校は2校予定しています。中学校教科書改訂に伴う指導書等整備事業、平成28年度から中学校の教科書が改訂されるため、教師用の教科書及び指導書を整備するものです。総務課については以上です。次の給食センターについては特に説明はありません。

川島課長 続きます。社会教育課より今年度と大きく変わったものを説明いたします。天然記念物管理保護事業、平成29年度の琴ヶ浜の国の天然記念物への指定に向けて、測量調査、人文学的調査、同意書の徴取を行います。併せて、久手の珪化木の遊歩道の手すりの改修を行います。大田市が生んだ文化人顕彰事業、今年度、岩谷時子顕彰事業を行いました。他にも大田市には偉大な文化人がおられることから、引き続き顕彰事業を行います。「文化はまちの力」推進事業は、予算額が減っていますが、今年度、大田市合併10周年事業として文化事業をおこなったものがありましたので、その分減額になっています。「公民館はまちの力」推進事業、新たな事柄として、公民館でも市民への啓発事業や地域の団体等の連携の中で、ESDの啓発を行っていきます。スポーツ選手強化育成事業、大田市から全国で活躍できる選手を輩出することを目標に、全国大会に出場する選手、団体に対しての補助を行います。また、トップアスリート

と触れ合う機会を創出し、スポーツ活動の活性化を図ります。以上です。

林 課 長 石見銀山課より説明いたします。石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業、新規事業です。石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業の実行委員会があり、その中の保全活用部会で行う事業です。例年おこなっております「ここまでわかった石見銀山」と題した、これまでの調査研究成果の発表や、「石見銀山学講座」を市内で6回開催する予定にしています。地域おこし協力隊員等受入れ事業（沖泊集落維持活性化）、世界遺産であります温泉津の沖泊集落の維持活性化に向けて、地域おこし協力隊員を1名配置し、地元の皆さんと一緒に課題解決に取り組むものです。新規事業はこの2つですが、これ以外で登録10周年に関連するものについて説明をいたします。石見銀山遺跡総合整備活用事業、この中で大久保間歩の公開区域の拡大をする整備を行います。石見銀山遺跡拠点施設等管理運営費の中では、最新の調査研究成果であるとか文化的景観といったものについての解説など世界遺産センターの展示の更新を行う予定です。国指定文化財保存修理事業、島根県指定文化財修理事業補助では、建造物の保存修理を行う予定です。以上です。

堀 課 長 今日、山村留学センター長は欠席しておりますので、私の方から説明いたします。地域おこし協力隊員等受入れ事業（山村留学魅力化）については、先程、総務課のところで説明したとおりです。山村留学あり方検討事業、仮称ですが、山村留学あり方検討委員会を開催する経費をあげております。以上です。

教 育 長 教育委員会予算ではありませんが、人権推進課の方で特にありますか。

飯田課長 人権推進課の予算は総務部で計上しておりますが、人権啓発推進事業として、人権施策推進基本方針の改定を行う予定です。併せて、男女共同参画事業として、男女共同参画の推進基本構想も改定する予定です。以上です。

教 育 長 何か質問はありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 それでは、平成27年度3月補正予算について、お願いします。

堀 課 長 まず、総務課ですが、3件は財源組替えです。4件目の子どものための教育・保育給付事業ですが、公定価格確定により給付額を増額しております。

川島課長 続きます、社会教育課です。山陰自動車道埋蔵文化財発掘調査事業、今年度2か所で発掘調査を行っておりますが、全体の調査量が当初の見込みより少なかったため、減額補正をするものです。

林 課 長 石見銀山課より説明いたします。一番大きなものは、国庫補助事業の割り当て減による減額です。当初予算で必要な事業費に対しまして、国に補助金の要望を出していますが、補助金の割り当てがないものについては事業費を減額しています。重要伝統的建造物群保存地区整備事業については、温泉津の温泉街の下水道整備、雨水対策、石見銀山課が所管する消火栓の設置工事などを関係課と合同で行っておりますが、事業の進捗状況により、事業内容を変更したため減額しております。石見銀山落石対策事業ですが、県事業負担金の減による減額であります。以上です。

堀 課 長 山村留学センターは財源組替えが1件です。

教育長 3月補正は以上ですが、何かご質問はありませんか。

委 員 (なし)

教育長 それでは、次の子どもの体力向上推進事業についてであります、事前に説明をしておりますので、質問があればお伺いしたいと思います。

福間委員 この事業を始めたのは、スポーツ推進計画を策定していたころ、子どもの体力が問題になっているということからで、今のところ子どもの体力は現状維持ですが、一番大きな成果は、大田市子どもの体力向上推進連絡協議会という組織ができたことです。スポーツ推進審議会の中で、子どもの体力向上をいかにすべきかという議論を基に、学校全体で考えていくことができるようになりました。それから、ある程度予算をもらって、遊具が充実したことによって、子どもの握力とかが現状維持あるいは向上しているというのが成果として表れていると思います。学校の取り組みが体育の授業を見ていると変わってきているのが分かりますが、体力向上を目指すには、体育の時間だけでは不十分ですし、生活習慣を見直していかななくてはいけないという方向性もこれから考えていかなければいけません。もう一つは、親学というものが出てきていますが、やっぱり、親が関心を持つというのが一番かなと思います。また、運動する機会が少ないと思います。中学校の場合、文化系と体育系の二極化がありますが、体育系の子どもでもそんなに体力は向上していません。

竹下委員 小学校は、スポーツテストの結果が良くて、学校で行われている

ことが効果的であると言えると思いますが、中学校に行った場合、小学校で向上したものが維持できていないというのは、やらなければ低下してしまうということが、この結果からわかります。継続的に取り組むことが必要だと思います。

仲野委員 学校の中で、小学校の先生方は意識化できていて、中学校の方は全体として意識化ができていないということはあるでしょうか。

福間委員 学級担任制か体育の教科担任制かというところで、体育の教員は授業と学校全体の体育経営に関わりますが、体育の教員が考えていても学校全体に浸透していないということはあるかもしれません。

教育長 小学校はやっておられますが、中学校でも業間とか昼休み、朝、放課後、どこかで意識づけできるようなものがあるといいですね。それでは、以上で子どもの体力向上推進事業については終了いたします。このあと、議第8号教職員の人事異動については関係者のみで審議いたします。

#### 【非公開】

議題8号教職員人事異動について

原案のとおり決定

教育長 それでは、予定の議題等は全て終了致しました。来月の教育委員会は3月24日です。よろしくお願いいたします。

#### 7. 閉会

教育長 以上をもちまして、第2回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。

—